



生駒市立鹿ノ台小学校

鹿小だより



鹿ノ台
ホームページ

令和 6年 6月 18日

第 6 号

水泳学習がはじまりました

6月11日にプール開きがありました。水温、気温ともに高めで、プール開き直後としては、珍しく順調にどの学年も予定した時間にプールに入ることができました。

2年生の最初の水泳学習のとき、先生が「天国シャワーを浴びます」と言っていました。子どもたちは、「ちがうちがう」と言います。流れるシャワーの水は温度が低いものです。子どもたちは、昨年度の経験からシャワーの水は冷たいことを知っていて、「地獄のシャワー」と呼んでいるようで、それを逆手にとつて？先生たちは気分を上げようと「天国シャワー」とわざと言っているようでした。今の季節、プールの水温と気温が基準をクリアしていても、シャワーの水の冷たさは、悲鳴を上げたくなるほどです。それでも、例年のない高い気温のおかげで、プールで泳ぐ子どもたちからは、歓声が響いていました。

水泳学習は子どもたちが楽しみにしている反面、命にかかわる危険と隣り合わせの学習です。異例の暑さによる熱中症にも気を付けなくてはなりません。水中では汗をかいていることに気づきにくく、知らないうちにのどが渇いているものです。こまめに水から上げて強制飲水を行っています。もともと、水泳



学習は、水による事故を防ぐため担任+αで多数の教員による見守りと指導、安全のための細かな約束や指示を心掛けることになっていますが、携わる教員には、子どもたちのほじける笑顔と歓声に喜びを感じる反面、緊張の時間が続きます。

お子さんのその日の健康観察、すいすいカードへの記入やサイン(印)には、必ずご協力いただき、無理のない参加を重ねてお願いいたします。

地域のことを地域の方から学ぶ〈3年地域学習の取組から〉

鹿ノ台地区の歴史や素戔鳴神社の祭りについて学習しました。講師としてお話をしてくださったのは、鹿畑町に昔から住んでおられる方と素戔鳴神社の宮司さんです。宮司さんのこの日の衣装は、神職の装束で袴の色はきれいな浅葱色です。その衣装だけで3年生の子どもたちにとって、いつもと違った厳かな感じを与えてくれます。

5月には、校区探検で鹿の畑の小学校の跡地や神社を見学し、現地で話を聞いていた子どもたちですが、今回は、スライドで昔の校区の衛星写真を見ながら、少なくとも1300年から人が住んでいたこと、今と違って山の中で、木や竹、池、水田ばかりの土地だったこと、水害が起こって大昔の村が流されたことがあったこと、土地の安寧を願って神様を迎え入れ、祠やお社を建てたことが神社の始まりとなったことなど、子どもたちにとっては初めて聞くことばかり。講師の方が小さい頃は、鹿畑に小学校がなかったために北小学校へ通っていたこと、生駒の戦国武将の話、地域の歴史や神社のお祭りや祭りに込められた人々の思いなどを教えてもらいました。



ホコウゲツカン

廊下の曲がり角の壁などにラミネートした標識の絵が貼り付けてあります。手のひらの絵に「STOP」や「とまれ」、「歩こう」などの言葉が添えられています。児童会の子どもたちの手作りです。これは、「みんなが正しく廊下の右側を歩けるようにする」ために、各学級で考えたアイデアを代表委員会で話し合い、児童会が形にした「歩行月間」の取組の1つです。子どもたちは、右側を歩くことは、頭ではわかっていますが、中休み、昼休みになると一刻も早く運動場へ出たくて走り出す子がいます。雨の日に校舎内を歩き回り、鬼ごっこをしてしまう子もいました。教員の姿に気づいたり、声をかけられて我に返ったりして歩き出すのですが、自分たちだけで気づき考え正しく行動できるようになってほしいものです。今回の取組を通して、自分たちで意識して行動できるようになり、そして、自分たちが主体となって取り組んだらできたという自信につながっていくといいなあとと思っています。



なつかしい！ 給食試食会

6月7日(金)、育友会で給食試食会を実施しました。多目的室は30名の保護者の方が集まりました。聞いたところによると、予定応募者数をはるかに超えたため、抽選をしたようです。この日登校する児童の中に、「今日お父さんが学校に来るの」と嬉しそうに話をする子がいました。直接自分を見に来るわけではないけれど、学校へおうちの方が来てくれることが子どもたちにとっては何か特別で嬉しいことなのだと感じたものです。

試食会では、はじめに学校給食センター栄養教諭の方から給食センターの取組や給食の献立で大切にしていること、工夫していることなどを紹介いただきました。この日のメニューは、いわしの梅煮とひじきの大豆の煮物、けんちん汁。牛乳パックの開封にもチャレンジしてもらいました。

最後のアンケートでは、「自分も生駒市の学校だったので、とっても懐かしいです」「容器が子どもの頃と違って持ちやすいです」「今日は、家に帰ったら、給食のことで子どもと一緒に話をしたいです」「高学年には、ちょっと少ないかも」「給食センターの取組や毎日の献立が見られることがわかってよかった」「低学年にはストローレスは厳しいのではないのでしょうか」といった声を寄せてくだ



さいました。たくさん参加していただき、ありがとうございました。また、育友会の担当役員の皆様も、企画、準備、進行等お疲れさまです。ありがとうございました。

牛乳パック 開封練習始めます！

給食牛乳パックを開封する練習を始めます。

7日のすぐーで給食センターよりお知らせがあったとおり、来年度からストロー有償化に伴いストローレスを検討しているようです。学校でも、牛乳パックの開封の練習をしてほしいとセンターから依頼があり、高学年から順番に練習をしてみることになっています。多少のコツと練習の数をこなせば、できるものなのかもしれませんが、入学間もない1年生でもほんとうに可能なのか心配でなりません。特に、牛乳アレルギーを持つ児童がいる学級では、どこまで安全と安心が担保できるのか不安な思いです。

事前に説明動画を見せ、飲んだ後の空箱を使って開封する練習をしてから牛乳が入ったパックで開封する練習に臨むなど無理をせず取り組めます。そして、練習時の子どもたちの様子や担任の声をセンターへ届けていきたいと考えています。保護者の皆様も、この件に関して何か気になることがありましたら、お知らせください。

牛乳パック開封方動画。

